

『感じる漢字』朗読
と
おはなし

『感じる漢字』の著者、山根基世さんを講師に迎え、
「漢字」や「言葉」にまつわる想いを語っていただきます。

あの人へ 贈りたい一字

2017年10月28日(土)



弥栄会館内「ギオンコーナー」

〒605-0074 京都市東山区祇園町南側570-2

主催：公益財団法人 文字・活字文化推進機構、公益財団法人 日本漢字能力検定協会
後援：京都市教育委員会

14:00~15:30

あの人へ贈りたい一字～『感じる漢字』朗読とおはなし～

アナウンサー

山根 基世 (やまね・もとよ) 氏

山口県生まれ。早稲田大学卒。1971年NHK入局。NHKスペシャル、美術番組、旅番組などを担当。2005年女性初のアナウンス室長。2007年NHK退職後、L L P「ことばの杜」を設立し、アナウンサー仲間と「子どものことば」を育てる活動を行った。2013年からは、地域づくりと組み合わせ、子どもの言葉を育てる独自の活動を展開している。2000年 放送文化基金賞受賞。著書に『感じる漢字』(自由国民社)、『こころの声を「聴く力」』(潮出版社)、翻訳絵本『この では あなたの ために』(評論社)など。



あの人へ贈りたい一字

私たちは、日本語や漢字に対する尊重の念と認識を高めるべく、また、「読む、書く、考える、伝える」という総合的な言葉の力をはぐくむことを目的として、様々な活動を行っております。

日本語の特性に寄り添い、磨き抜かれた言葉を感じるひとときを、参加者が一体となって共有できれば そんな思いを込めて、この度「あの人へ贈りたい一字」を開催することいたしました。

山根基世さんの朗読とおはなしを通して、漢字をより身近に感じていただけたら幸いです。

文字・活字文化推進機構
日本漢字能力検定協会

漢字ミュージアム



ワークショップ 「あの人へ贈りたい一字」

本イベント開催を記念して、漢字ミュージアムでは特設コーナーを展開（10:00～12:00）。「あの人へ贈りたい一字」をテーマとして、ご来場のみなさまに消しゴムスタンプでオリジナルのメッセージカードを作成していただきました。

「漢字ミュージアム」では、漢字の世界を楽しめるワークショップを定期的に開催しています。詳しくはこちら▶ 漢字の歴史を体験しながら楽しく学ぶことができる「漢字ミュージアム」へも、是非お運びください。

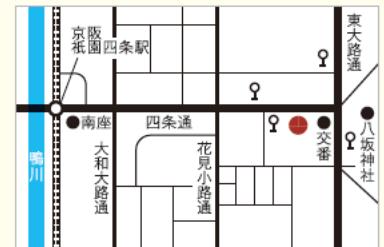


漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）

〒605-0074

京都市東山区祇園町南側 551 番地
(京都市元弥栄中学校跡地)

検索 漢字ミュージアム



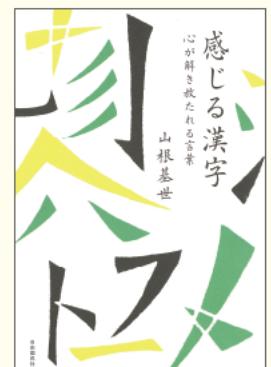
著書のご紹介

ラジオ番組「感じて、漢字の世界」で紹介した漢字の中から35字を加筆修正、ミニエッセイも加えた書籍です。

いにしえの人の思いや暮らしを想像することで生きる知恵や前に進む勇気がわいてきます。

『感じる漢字 心が解き放たれる言葉』 山根基世

出版社：自由国民社
税込価格：1,620円



メモ